

2007年江東区民まつり

ごみ分別調査まとめ

【調査の概要】

調査目的：区民まつりのごみ削減に向けて～ごみ・資源の分別状況調査

調査方法：「エコとも」ボランティアによるごみ分別ステーションでの分別案内や分別指導を通して、目視による分別状況調査をおこなった。

ただし、調査は、限られた時間と人数で、各ステーションの一面を見るという断片的(部分的)調査である。また、基準を定めて厳格な調査を実施したわけでもなく、担当者による目視によるものである。従って、そのステーション全般の実態を把握できるものではなく、判断基準も人それぞれの感覚的なものによるため、大まかなとらえ方で全体像を把握している。

調査日時：2007年10月20日(土)と21日(日) 各13:00～15:30

調査場所：都立木場公園区民まつり会場の北側・南側
ごみ分別ステーション20ヶ所

参加人数：「エコとも」ボランティア 2日間で68名

主催団体：Green・up 区民まつり「ごみ分別調査チーム」

Green・up 区民まつり「ごみ分別調査チーム」
2007年11月作成

【調査結果まとめ】

1. 分別排出の評価について

会場20箇所のごみ分別ステーションで、担当ボランティアによる6分別(可燃・不燃・ペットボトル・びん・かん・古紙)の総合評価を「良い」「普通」「悪い」で評価すると、各ステーションともに、「普通」か「良い」だった。「悪い」はなかった。

各ごみ分別ステーションNoごと総合評価 10月20日(土)

南側会場			北側会場		
No	最寄り目標	評価	No	最寄り目標	評価
1	清掃事務所	普通	11	東京ガス	普通
2	盲導犬	普通	12	自動車整備	普通
3	手作り遊び	良い	13	ガーデンセット【総合案内】	普通
4	フラワーアレンジ	普通	14	ガーデンセット【来賓席】	良い
5	警備詰め所	良い	15	ふるさとまつり	普通
6	餅つき	良い	16	ふるさとまつり	良い
7	はるばるバザール	普通	17	ふるさとまつり	普通
8	入口案内センター	良い	18	産業展	普通
9	東京楽天地	良い	19	産業展	普通
10	ウォークラリー	普通	20	中小企業	普通

各ごみ分別ステーションNoごと総合評価 10月21日(日)

南側会場			北側会場		
No	最寄り目標	評価	No	最寄り目標	評価
1	清掃事務所	普通	11	東京ガス	良い
2	盲導犬	良い	12	自動車整備	良い
3	手作り遊び	良い	13	ガーデンセット【総合案内】	良い
4	フラワーアレンジ	普通	14	ガーデンセット【来賓席】	良い
5	警備詰め所	普通	15	ふるさとまつり	普通
6	餅つき	普通	16	ふるさとまつり	普通
7	はるばるバザール	普通	17	ふるさとまつり	良い
8	入口案内センター	普通	18	産業展	普通
9	東京楽天地	良い	19	産業展	普通
10	ウォークラリー	普通	20	中小企業	普通

ごみ分別ごと集計で「悪い」となった ステーションNo

ごみ・資源 分類	10月20日(土)	10月21日(日)
	ごみ分別ステーションNo	ごみ分別ステーションNo
可燃ごみ		
不燃ごみ		
ペットボトル		
びん		
かん		
古紙		

(詳細は別途「ごみ分別調査集計2007」参照)

2. 調査内容まとめ

ごみ分類ごと指摘事項

可燃ごみ

- 気がついたこと -

ビニール袋の中にプラスチック容器などを一緒に入れたまま捨てているケースが多い。(多数)

ビニール類、プラスチック袋、プラスチック容器が混在している。(多数)

チラシ等の古紙を入れてしまう人が多い。(多数)

燃やすごみと燃やさないごみの区別ができていない。

ビニール、プラスチックを「燃やすごみ」と認識している人がいた。

自分のブースでまとめたと思われるごみが、袋ごと捨てられていた。

声を掛けると大体みんな分けてくれる。しかし、あまり細かくはやらない。

- 困ったこと -

汁物、食べ残しの処理に困った。(多数)

- 提案 -

食べ残しや飲み残しのバケツがあるとよい。

もっと細かく分けたほうが、逆によいかも。

串など、できれば危険がないように先を処理していただけるとありがたい。



プラスチック類が混在



ブラ袋ごと、配布パンフも混在



不燃ごみ

- 気がついたこと -

ビニール袋の中に食べ残しや、割りばし、クシ等を一緒に入れたまま捨てているケースが多い。(多数)

燃やすごみと燃やさないごみの区別ができていない。(多数)

ブリックパックとストローを一緒に捨てていた。

紙製のお皿を燃やさないごみと勘違いする人が多かった。

- 困ったこと -

「プラスチック容器は燃やすごみに変わったのではないか？」と聞かれた。

プラスチックごみが他のごみより多いからごみ箱が足りない。

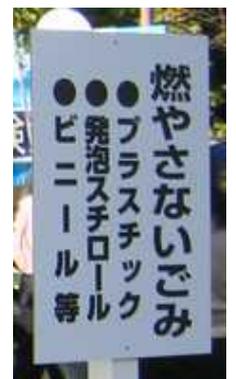
ごみのごみ箱からあふれている。



袋ごとそのまま捨てられる



なぜか紙皿が不燃ごみへ



ペットボトル

- 気がついたこと -

ラベルとふたをつけたまま捨てていく人がほとんど。(多数)
キャップとラベルをはずす習慣はほとんど定着していない。(多数)
キャップとラベルを自主的にはずす人はほとんどいない。(多数)
最初にキャップとラベルをとっておくことで、ほとんどの人が協力してくれた。(多数)
キャップやラベルを分別してくれた。(多数)
声をかけると分別に協力してくれた。(多数)
係がいるとみんなキャップなど分別してくれた。(多数)
ごみに捨てる人はほとんどいなくなったが、キャップやラベルまではがす人は本当に少ない。
できるだけキャップ、ラベルのはがしたものを見やすいようにして、ラベルをはがしを推進。
フタとラベルをはがす人は50%程度。



- 困ったこと -

飲み残しが入っている。(多数)
たばこの吸い殻が入っていた。
ラベルがはがれにくい。



ラベルはそのまま！

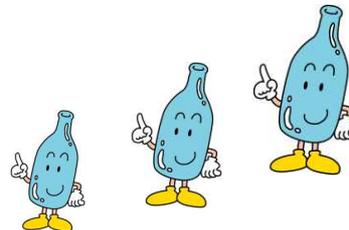
びん

- 気がついたこと -

びんのごみは比較的に少なかった。(多数)
びんがなかった。
ワンカップ、日本酒にはフタ(不燃)がついていることが多かった。
多少フタがついているものがあった。
比較的きれいに分別されていた。

- 困ったこと -

飲み残しがあった。



かん

- 気がついたこと -

きれいに分別されている。(多数)
ちゃんと守れていた。
つぶして入れる人が多かった。

- 困ったこと -

飲み残しがあった。
ビン、缶、ペットともに中身の処理に困り、ごみ箱のまわりに捨てる人がいる。
バケツを用意するのも違うような気がするし～。



- 提案 -

つぶして入れた方がいいと思う。



比較的きれいに回収

古紙

- 気がついたこと -

古紙以外の紙ごみが一緒に捨てられている。(多数)

古紙の回収量は少なかった。(多数)

紙くず、ごみ、ビニールがまざっている。(多数)

配布された袋に入ったままの状態です捨てられていることが多い。

新聞紙を広げて、古紙回収であることをアピール。

燃やすごみに入ったのを古紙に移すことが多かった。



- 困ったこと -

紙くずとチラシの見分けが難しかった。

ちょっと目を離した隙にごみ箱化していた。

ビニール袋に入ったままのチラシが多い。

クリアケースに入ったまま捨てられている。

出店者と思われるダンボールが廃棄されていた。

出展者のごみが排出されていた。



ごみ箱状態

- 提案 -

古紙を燃やすごみに入れる人が多いので、

古紙BOXを燃やすごみの横に設置した方が分かりやすいのではないかと。



きれいに整理された古紙



出展者のダンボール

ごみの回収状況について

- 良かったこと -

頻繁に回収にきてくれた。(多数)

大丈夫、間に合った、良かった等。(多数)

特に問題はなかった。(多数)

- 困ったこと -

取り替えのごみ袋が足りなくて大変だった。(多数)

開始時点ではごみがあふれてしまっていた。(多数)

回収に間に合っていた。でも、私たちが来る前すごい状態だった。

回収にくる前に、取り替えた袋が溜まってしまった。

燃えないごみは溢れていた。

回収の人が遅い。

燃やさないごみが1つで回転が速い。



回収のタイミングがぎりぎり。

もう少し回収の間は短い方がよいと思う。

ごみの量が非常に多かった。ピーク時、～14:30は15分ほどで燃えないごみがいっぱいになる状況。

なぜか燃やすごみ箱が2つ。燃やさないごみ箱が1つで、燃やさないごみがドッチャリ！

ステーションから近かったので、回収は間に合っていたが袋が足りなくなりそうなことが何度かあった。

プラごみが多く、一杯になってしまうケースがあった。

ごみがまだ入るのに、ごみ袋をしばっていてもったいないと思った。

回収が早すぎる。

飲食店が近くにあったので、ごみは多量に発生した。

分別案内を通しての参加者の反応は？

- 良かったこと -

協力的、とても協力的、良かった等(多数)

立っていると、何も言わなくても協力してくれた。(多数)

ほとんどの人が掲示をよく見てやってくれた。(多数)

注意すればみんなやってくれた。(多数)

小さい子がとても協力的。(多数)

私たちがやっているとやってくれる人もいる。

予想していた以上に協力的であった。

みなさんが協力的で笑顔で対応してくれて指導している私たちも気持ち良かった。

7, 8割の人が協力的であった。

人それぞれだが、8割は協力的だった。

小学生の男の子が、ペットボトルのラベルとキャップを「全部分けよう!!」と言って手伝ってくれた。

若い人のほうが分別の意識があるように感じた。

協力的で、文句を言う人は1人もいなかった。

最初は分別できていなかったが、我々の声かけで協力的に分別をしてくれるようになった。

周りや、ごみ箱の内容によって大きく左右される。 係の人間が分別している姿を見て協力してくれた。

ペットボトルのラベルはがしに思ったより協力的だった。

普段から意識がある方とない方がはっきりしていた。



- 困ったこと -

ペットボトルはついついそのまま入れてしまう人が多い。

ラベルをはがすのの苦労されている(お年寄り)人もいた。(手伝いました)

分別の看板を見て迷っている人が多くいた。

協力的だったけど、一部ごちゃ混ぜにした袋をそのまま捨てる人もいた。

大半の人が協力的だったが、無視して捨てていく方がいた。

表示を見て分別をするというより、ごみ箱の中身を見て捨てる人が多い。

キャップとラベルを取ることを知らない人がいた。おどろかれた。

古紙回収も知らない人がいた。

暑かったせいか、ペットボトルのごみが多かった。プラスチック食器類も多く、燃やさないごみが多かった。

係員がいるときはきちんと分別してくれるが、いないときは分別されていないことが多かった。

飲食店周りは非常に混雑。

出店者のマナーが悪い。

事業者のごみが排出されているのが気になった。

特に問題はなかったが、フリーマーケットからでてくる空き箱が目についた。

協力してくれない人も多い。
もう分別しなくてよい区・地域があるらしく、「分別の必要はないんじゃない?」と言われた。
汁物の廃棄に困った。
残飯処理が一番大変だった。

- 提案 -

分別の表示が硬い気がする。文字だけでなく、カラフルに絵(イラスト)も使って楽しく分別することも必要では。特にペットボトルの分別は、まだまだ浸透していないのが残念。

ステーション周辺で気のついたことなど

特になし。(多数)

きれいだった。(多数)

落ちたごみを拾ってくれる人が多かった。

割りばしを捨てずに何度も使っている人がいた。(どこかで割引でもしていたのか?)



- 困ったこと -

食べ残し、飲み残しの処理に困った。(多数)

近くの植木の根元に残飯がダツて置いてあった。(1食分)

飲み残し、汁が飛んでいた。

飲み残しを分別ステーション付近に捨てる人が多い。

臭いがひどい。

近くでアメを配っているのので、アメの袋が古紙のなかに入っている。

チラシ類を配る人が多いので、そのまま古紙のなかに入れて捨てる人が多い。

クリヤファイルやビニール袋のまま捨てる人が多い。

飲食店の目の前なのでごみが激しく増える。

子どもたちがごみ拾いをしてきれいだった。

表示がわかりにくい。

ごみ箱が同じなのでわかりにくい。

フリーマーケット出店者もしくは購入者の大量のゴミが分別なく置いてあった。

無料もちの配布の紙皿もったいなかった。

お酒を飲んでいる人が多いのが意外だった。(酒の出店が多い?)

ごみは結構あったが、ボランティアの方(と思われる)が回収していました。

近くに喫煙コーナーがあり、そこに飲みほしたペットボトルが放置されていた。

出店者がごみを出していた。



- 提案 -

ごみの多い場所と、少ない場所の差が激しかったため、今後ごみが多いと予想される個所には分別ステーションの拡張が必要だと思う。

道案内を聞かれることが多々あったため、少なくとも回りで何をやっているか事前に見回ったほうがよい。

飲食店が集中しているエリアにはごみ分別ステーションを増やすべき。

人はごみを捨てる時、分別の看板を見てごみを捨てるのではなく、ごみ箱の中身を見てごみを捨てるのだと感じた。だからこそ一人ひとりの分別への心がけが必要だと感じた。

上記のように看板を見て迷う人がいたので、色分けする。イラストをのせるなどするとよかったと思う。

私の担当した場所は、後ろにも飲食店があったので、両面に看板をつけるとよかった。

飲食物を出店しているブースは、プラごみを減らす何らかの取り組みをした方がよい。

その他

特になし。(多数)

中村中高生が頑張っていた。

私たちが分別を直していたとき、ごみを捨てに来た人も協力的に分別をきちんとしていた。

ラベルをはがして出す方がいて、正直おどろいた。

ごみの分別の意識は高いと思った。

食べる場所ではごみ箱が少なかったと思う。

ごみは各ブースで集めていた。

カップごみが多い！！

風船がペットの中に入っている。

袋の中をあけて分別したが、そこまでやる必要があったのか。他のステーションとレベル差があったかも。

道案内の質問をされる人が多い。(迷子センターの場所を尋ねる人もいた。)

若い方のほうが、ごみの分別に理解がないと思っていたが、年配の方の理解者が少なかった。

子どもでも分別をきちんとできている子が多く、感心した。

すでに分別されたごみを見て、あとに捨てる人がまねて捨てていた。

他を見る余裕がありませんでした。すいません。

北でリユース皿・カップの利用はほとんどないもよう。

- 困ったこと -

火のついたタバコを入れられた。

燃えるごみにタバコの吸い殻が目立った。

中身が入ったままのお酒のビンがそのまま捨てられて困った。

燃えないごみ箱が少ない

出店側はごみ対策をほとんど意識していない。

オシメの分別が分かりませんでした。申し訳ございません。

江東区内の方で、プラスチックは今は「燃やすごみ」として分別しているというお話が多くありました。

- 提案 -

全店リユースカップにするといいと思う。

ペットボトルのキャップは400コで10円、海外の子どもワクチンが20円ということで集めているということを知った。キャップ専門箱を用意してみんなの意識を高めるのもいいチャンスかなと思う。

出店からのごみもかなり捨てられていた。自己回収の徹底は引き続き必要。

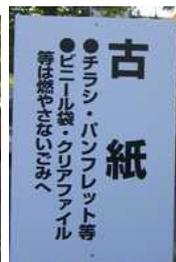
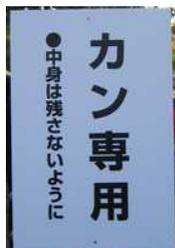
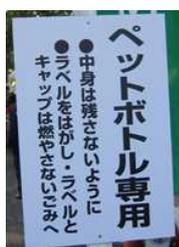
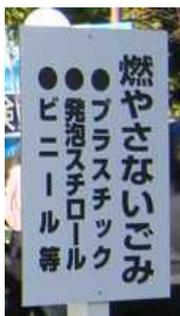
出店の中で、汁物は後処理に困るので規制した方がよいと思った。

ペットボトルのごみが多かったので、来年以降、販売時に紙コップ等にうつしかえればよりいいと思う。

写真で分別するごみの種類を分かるようにしておけば皆さん分別してくれると思う。

飲食店のごみを発生しないように、リユース化できればごみの量はかなり変わるととても感じた。

ペットボトルの中にはラベルが取りづらいものがあり、メーカー側の協力も必要に感じた



まつり終了間近・終了後のごみステーション



ダンボールが次々と出てくる



直接、車に積み込む出展者も登場



大量に出された牛乳パックなど



出展者のごみ



分別など全く無視状態！



出展者の大量廃棄！



出展者のダンボール



出展者のダンボール

まつり終了後の大量のごみの山



持ち帰りの看板の横に堂々と出されている



出展者のごみ



20日終了後のごみ集積場



まつり終了後の事業ごみ(21日PM:600)



まつり終了後のダンボール(21日PM:600)



まつり終了後の可燃ごみ(21日PM:600)



まつり終了後の不燃ごみ(21日PM:600)



まつり終了後可燃と不燃が混在(21日PM:600)

3. 調査を通して見えてきこと

例年同様、容器から溢れる状態にならなければある程度適切に分別される状況にある。そのために会場内の収集を頻繁に行う必要がある。収集が間に合わない場合は、袋の取り替え作業を行うなどの対応が必要不可欠に思える。(袋の予備も1枚だけでは不十分な場所も多い。また、取り替え作業を誰が行うか?)

ごみの分別をさらに徹底するためには、ごみの分別の表示を大きく、イラストや写真入りで見やすく、わかりやすくする必要があり。また、各ごみステーションに分別指導員を配置して、ごみや資源の分別指導を行うことがより効果的だと思う。

資源として「古紙」を回収しているということがまだ浸透していない。分別品目のより効果的な表示が必要。

ペットボトルのラベルとキャップはがすということが浸透していない。より効果的な表示が必要。

今年の極めつけは「出店者のごみは原則持ち帰り」の立て看板であった。が、相変わらずまつり終了後は大量のごみが出されていた。出店者のごみは持ち帰りルールのみさらなる徹底、指導が必要。

パンフレット、チラシ類の一方的な配布が多い。ビニール袋入りのチラシ(ご丁寧にセロテープで止めている)等の廃止や、必要とする人へのみ配布する等の対策が必要。(すぐにそのまま捨てられるパンフレット類があまりに多い。)

ボランティア参加者の指摘にも多くあったが、ごみを出さないまつりの取り組みを今一度真摯に受け止め、出展者へのさらなる働きかけや、事務局サイドで可能なことを検討する必要がある。

江東区内でも始まっている、プラスチック類の分別基準の変更(可燃ごみ)で、多数の方が分別の必要性がなくなったと思っている。そういう状況化での分別指導で、該当されたボランティアさんには気の毒であった。

4. 事前打ち合わせとの行き違い等

20日(土)、北側のごみステーションにおいて、不燃ごみのBOXが2コ配置であるべきところが、すべてで可燃ごみBOXが2コ配置となっていた。飲食店が多く不燃ごみが大量に出る場所で最悪の状態となってしまった。終了間近になって気がついたため、当日はそのままとなった。

古紙の回収について、リンレイサービスの担当者は何も指示を受けていない人がほとんどであった。ごみと一緒に袋に入れようとした人もいた。

5. 来年度への提案

1. 出展者にできるだけごみを出さない取り組み指導の徹底
2. 出展者のごみの持ち帰りや排出時のルールの確立
3. 環境によい取り組みをまつり実行委員会として讃えるイベントを企画
(たとえば3年前に実施した「エコセレブ賞」のようなこと)
4. ごみ箱の分別表示看板をもっと大きく、見やすく、わかりやすく、両面に、少し低い位置で検討
5. 可燃ごみ袋の色分け、予備のごみ袋等を引き続き継続する。リンレイサービスとの連携

6. 来年度から、23区全域でプラスチック類、ゴム、革製品などが不燃ごみから可燃ごみに区分変更されるため、ごみの分別に大きな混乱が予想される。まつりのごみの分別をどのようにされるかは分からないが、分別指導や調査は清掃リサイクル課主導でおこなわれることを希望する。

併せて、区民まつり独自の方法でごみ分別をし、リサイクルをすることの意義をアピール出来るような取り組みにしていただきたい。たとえば、きれいなプラスチックだけを集めてリサイクルをする、など他のイベントで実施されていることを学び、よりごみゼロに近づけたまつりにすることを区全体の取り組みとして、多くの方々の参加のもと実施される方向を模索してほしい。

7. 大きなテントを用意してあるので、何をしている場所なのか来場者に伝えられる掲示物等を用意し、取り組みのアピールをすると良いと思う。

8. 沢山の椅子とテーブルを用意されたので、来場者の方々にも利用していただいたが、テント内は私物等もあり時間帯の関係でお断りした方もいておしかりをいただいたので、対応を統一して望めるように仕組みを考えたほうがいい。

9. 若い方々の参加が大変好感をもっているため、今後はさらに若い層のかた方と事前の仕組み作りから参加していただくのが望ましいと思う。たとえばエコリーグとかシードジャパンのメンバーになっている学生さん達に、ボランティアへの参加を促すようなことを、行政から依頼すると事はスムーズに進行すると考える。

10. 来年度、食器洗い洗浄機を導入するのなら、リサイクル課と協力して皿を洗って繰り返し活用出来る仕組みを早い時期から考えていきたい。皿は学務課に相談して学校給食用の取り替え時期に使える物を再利用するなどして、色々な課との連携をはかりながらごみゼロのイベントに近づけてほしい。

11. 色々な課や当日ごみ収集をしてくださるリンレイさんもふくめ、どのような取り組みをすすめるかを話し合えるような場をもうけ、イメージを共有すれば当日の行き違いなどは軽減するとおもう。

以上